

第 11 回多糖の未来フォーラム

The 11th Forum on the Future of Glycans

開催時期： 2017 年 11 月 7 日（火）

開催場所： 大阪大学理学部南部陽一郎ホール（大阪府豊中市待兼山町 1-1）

主催： 糖鎖化学研究会、日本応用糖質科学会、セルロース学会、日本キチン・キトサン学会、シクロデキストリン学会

共催： 日本化学会、日本糖質学会、日本農芸化学会、バイオインダストリー協会、グライコフォーラム

協賛： 高分子学会、水谷糖質科学振興財団

会議の目的と開催意義：「多糖の未来フォーラム」は、日本化学会（糖鎖化学研究会）が呼びかけて、日本応用糖質科学会、セルロース学会、日本キチン・キトサン学会、シクロデキストリン学会が結集するとともに、関連諸学会・団体のご協力も得て、平成 18 年(2006 年)に発足して以来、多糖を通じて我が国の学術と産業の強力な推進を図るとともに、関連分野の相互の交流を活発化し、多糖の重要性と魅力を現代社会に広く訴える活動を行ってきた。

多糖は、太陽の恵みを受けて地球上で大量に生産・利用・分解されており、人類にとって必須の食料資源・生活資源・産業資源・創薬資源・エネルギー資源として役立っている。資源としての多糖をいかに有効に活用していくか、また多糖に秘められている多様な機能をいかに探究していくかに着目して、交流を深めている。特に昨今、科学者・技術者は、専門の枠や産業の枠を超えて、地球規模の問題や人類生存の課題について、意見を交換し、学術・産業を推進していくことが要請されている。「食糧と、材料と、創薬」という異なった多彩な多糖分野の課題に取り組むことによって、人類のこころ豊かな生存を実現するための可能性およびその限界を探るべく、さらに大きな活動に発展させていきたいと願っている。 これまでに当フォーラムは第 1 回・第 2 回名古屋、第 3 回仙台、第 4 回東京、第 5 回京都、第 6 回横浜、第 7 回大阪、第 8 回福岡、第 9 回京都、第 10 回名古屋において継続開催してきた。この度、第 11 回フォーラムを大阪にて、シクロデキストリン学会が主体となって開催することになった。多糖の未来フォーラムに相応しい多糖研究者にご講演いただき、多岐にわたる多糖分野をさらに発展させるべく、多糖の面白さを分かりやすくアピールするとともに、人類の豊かな生存を実現できる「大いなる多糖の可能性」について、討論を深めていきたいと考えている。

世話人：大阪大学大学院理学研究科 原田明・深瀬浩一・山口浩靖